

令和2年度 佐織中学校 学校評価アンケート(まとめ)

令和3年2月配付

佐織中学校の教育目標

校 訓 「正しく 強く 明るく」

目指す生徒像 「気づき、考え、実行し、振り返る生徒」

12月に実施しました「佐織中学校 学校評価アンケート」の集計がまとまりました。保護者の皆様にはアンケートにご協力いただき、ありがとうございました。9割を超える回答率で、保護者の皆様が佐織中学校の教育活動に高い関心をもっていることを強く感じました。生徒や教職員にも同様のアンケートを実施しておりますので、その結果を合わせて報告いたします。今後もよりよい学校を目指し、前向きに改善していこうと考えております。これからもよろしくお願い致します。

○ アンケート実施時期 令和2年12月1日～10日

○ アンケート対象・回答数・回答率

【生徒】

276/288 95.8%

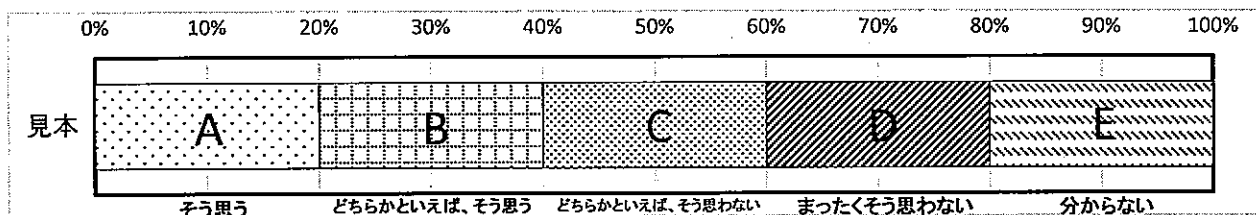
【保護者】

274/288 95.1%

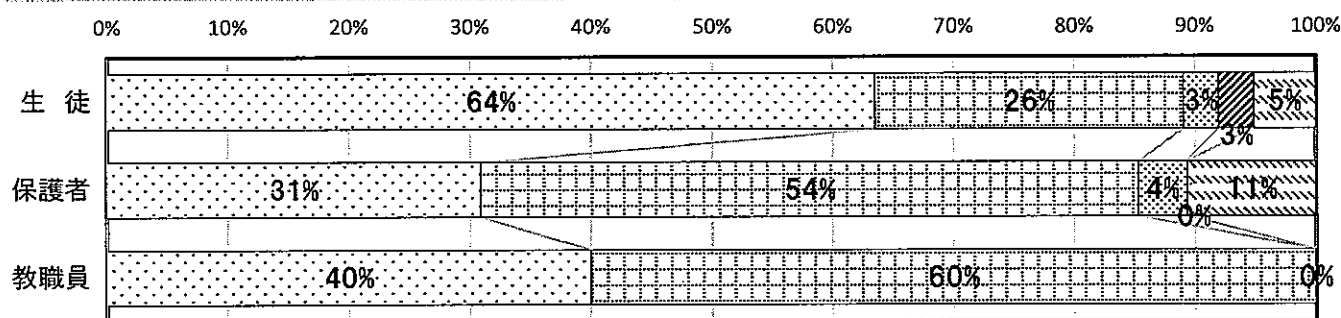
【教職員】

22/22 100%

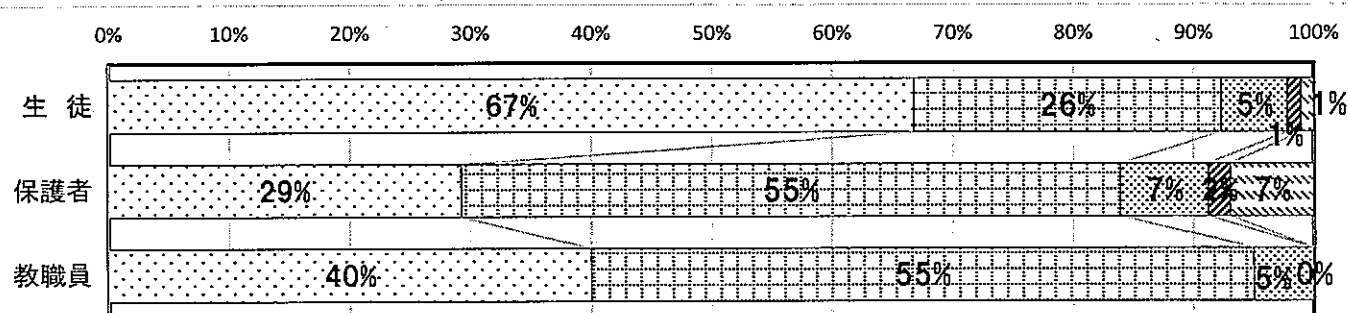
<グラフの区分について>



1 生徒が楽しく学校生活を送れるよう努めている。

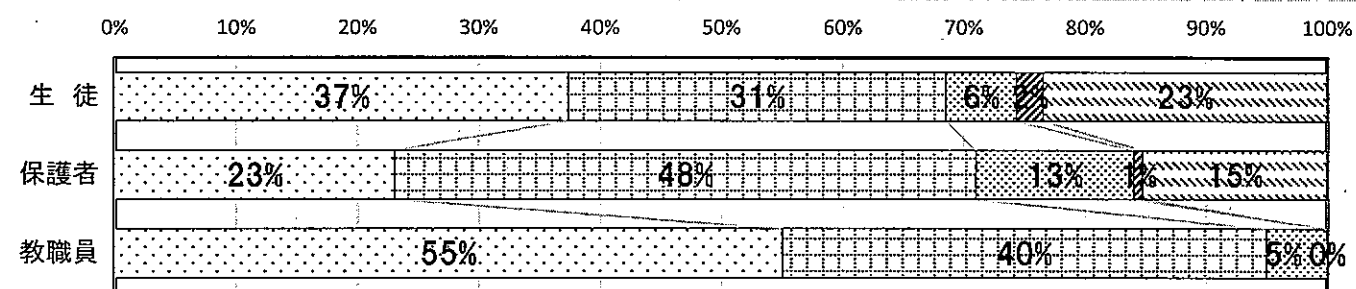


2 学校祭などの学校行事が楽しくなるよう努めている。

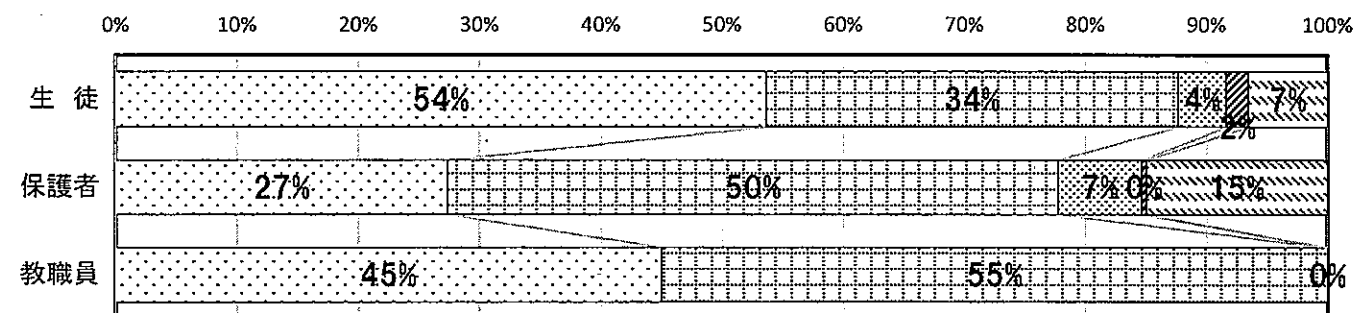


分析	1・2の質問には、生徒・保護者とも9割近くの方が「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と肯定的に回答しました。また教職員は、1・2の質問に95%以上が肯定的に回答しました。
対策	今年度は、コロナ禍の中で様々な行事や活動の変更・縮小が行われました。そのような状況にもかかわらず、教職員はもとより、生徒・保護者が一丸となって「少しでも生徒が満足できるように」と意識して取組を進めることができたのではないかと思います。今後も、感染症の状況によって行事等の開催が不安定な状況が続く可能性があります。そのような中でも、常に生徒の声を聞きながら、PTA等とも連携を図り、教育活動や学校行事の適切な実施に努めていきます。

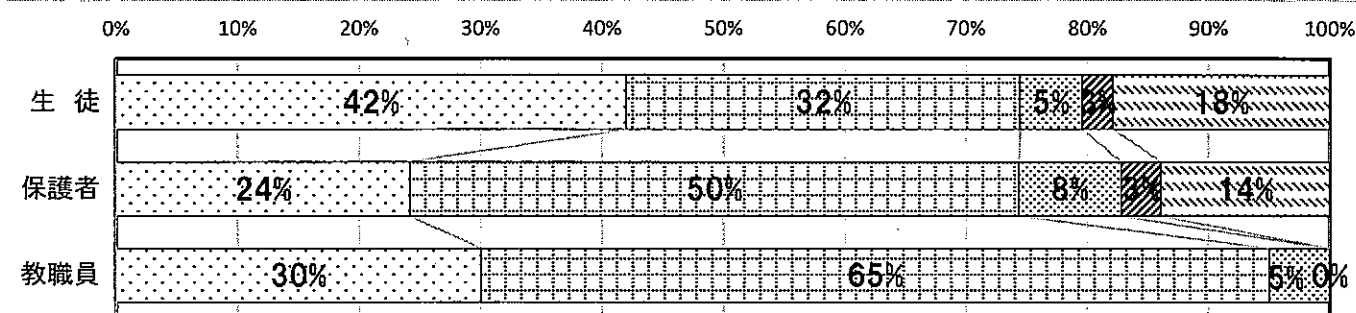
3 生徒の相談に親身になって、組織として適切に対応している。



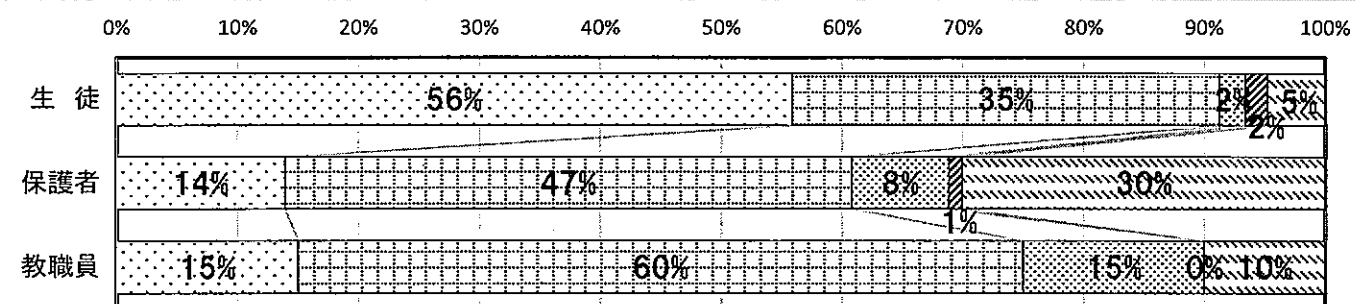
4 いじめのない学校・学年・学級づくりに努めている。



5 生徒の思いや願いを大切にしている。

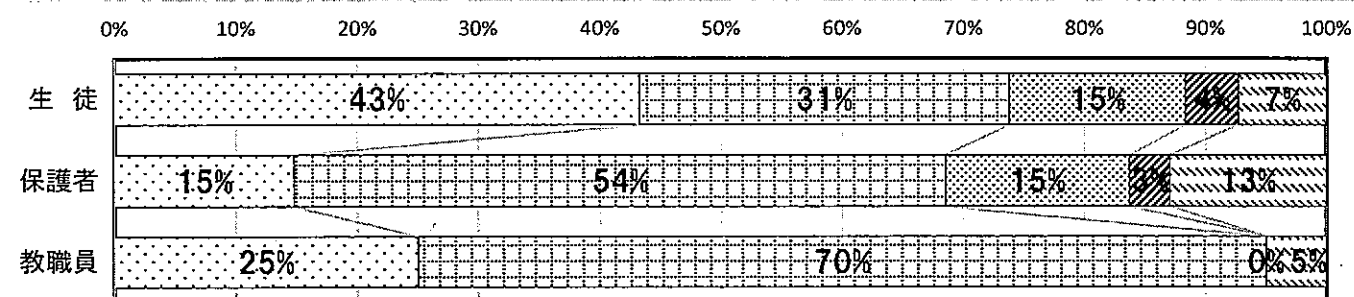


6 生徒が、悩みや問題を自分自身の力で解決するよう支援している。

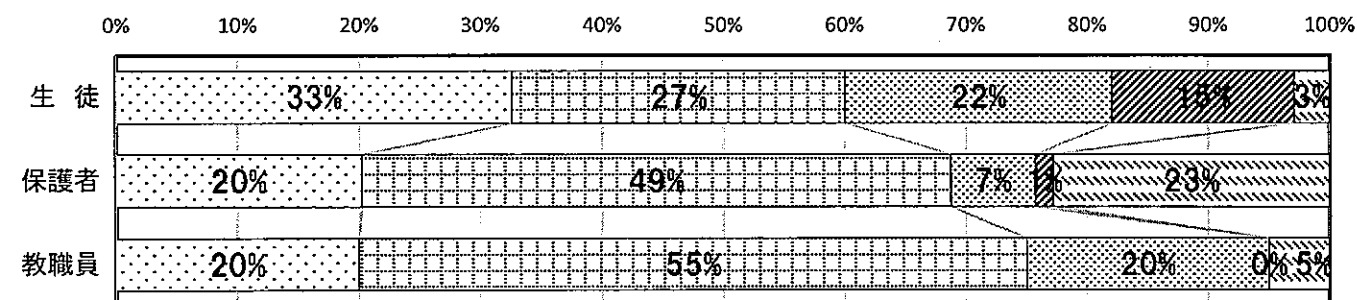


分析	3・5の質問には、教職員の95%以上が肯定的な回答をしてるが、生徒・保護者は7～8割程度しか肯定的に回答をしていませんでした。4の質問には、三者ともに否定的な回答が10%未満と少なくなっていました。6の質問には90%以上の生徒が肯定的に回答していますが、保護者の30%、教職員の10%が「分からない」と回答していました。
対策	3・5の回答から、生徒の思いや願いに対して、教職員が思っているほど実際には寄り添えていない実態があることが分かりました。生徒が発する「小さなサイン」を見逃すことがないよう細心の注意を払いつつ、生徒とじっくり向き合うことを全教職員で心がけていきます。 6の回答について、保護者・教職員ともに、生徒の頑張りに気付いていない面があることが分かりました。学校や家庭で、子どもたちとのコミュニケーションを充実するよう心がける必要があると感じました。

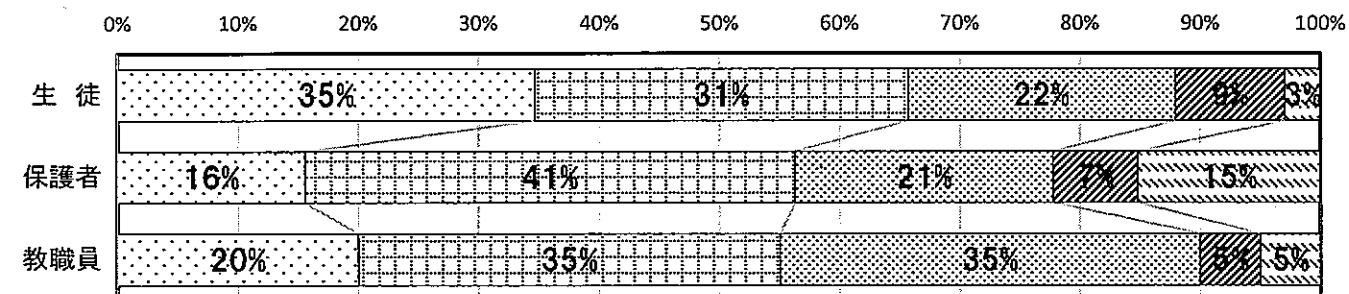
7 授業で、学力の基礎・基本を着実に定着させている。



8 生徒が進んで発言したり、主体的に活動したりする授業作りを実践している。

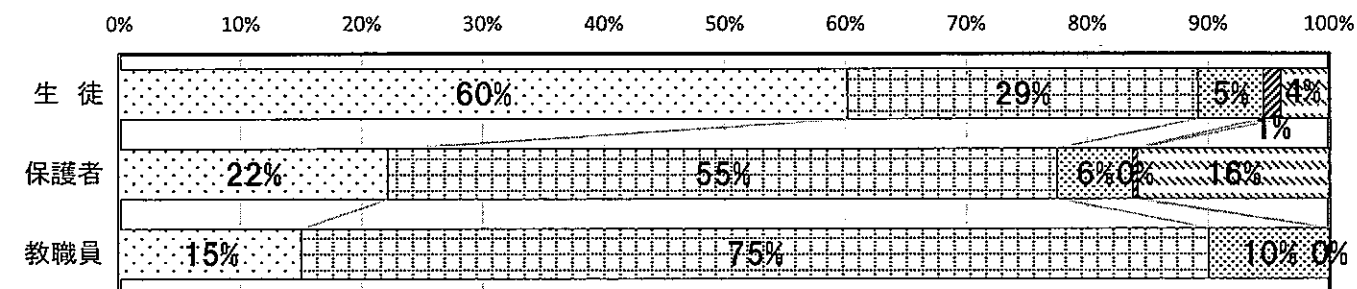


9 生徒が、家庭で自主的に学習や読書をするよう支援している。

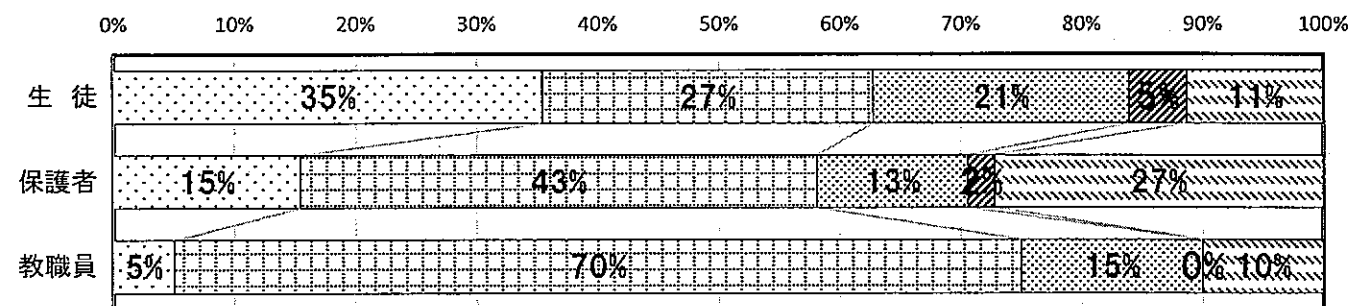


分析	7の質問については、教職員の95%が肯定的な回答をしています。生徒・保護者は70%程度しか肯定的な回答をしていませんでした。8の質問については、「全くできていない」と回答した生徒が15%と高い割合を示していました。9の質問については、「どちらかといえば、そう思わない」と回答する割合が三者ともに多くなっていました。
対策	どの質問についても、生徒・保護者が十分には満足していないことが分かりました。特に、主体的・自主的に学ぶ生徒を育成することが、今後の大きな課題であると感じます。授業や家庭学習のあり方について根本的な見直しを進めつつ、よりよい学びについて生徒・保護者と共通理解を図るよう努めていきたいと思えます。

10 生徒同士がコミュニケーションをとり、協力して物事に取り組むよう支援している。

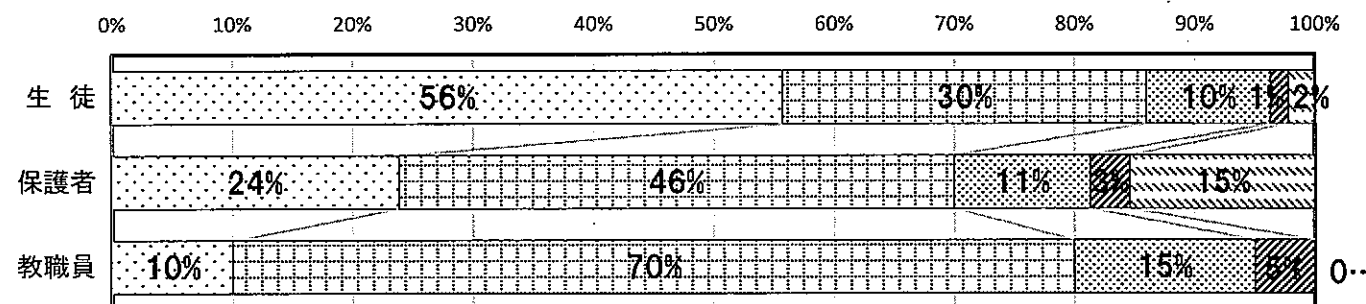


11 生徒が自己を見つめ、将来の夢をもち、それに向けて頑張るよう支援している。

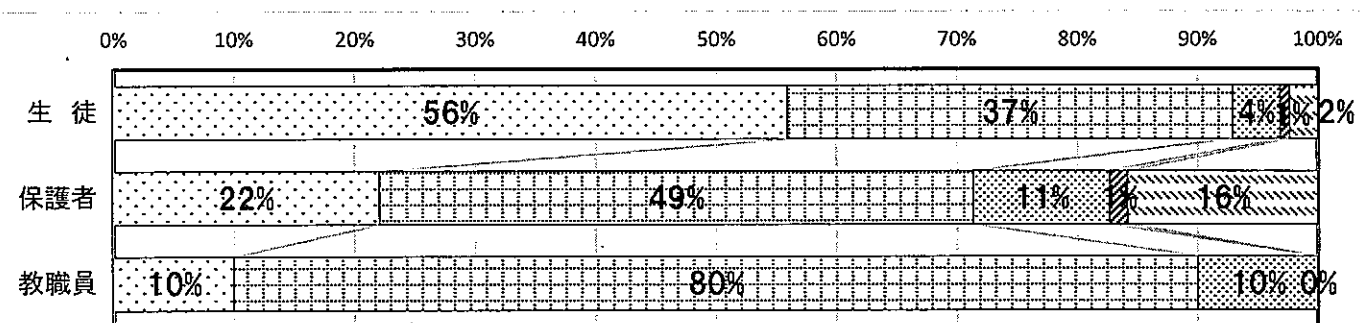


分析	10の質問については、生徒・教職員の90%が肯定的な回答をしていました。11の質問については、三者ともに「どちらかといえば、そう思わない」の回答が多くなっているとともに、教職員の5%しか「そう思う」と回答しませんでした。また、2つの質問ともに、「分からない」と答えた保護者の割合が多くなっていました。
対策	10の回答について、学校生活で教職員・生徒がコミュニケーションをとりながら協力して物事に取り組もうとしていることが、特に今年度は保護者の方に参観していただける機会が少なかったためか、十分に伝わっていない実態があることが分かりました。 11の回答については、三者ともに生徒の自己理解や自己実現に向けて必要な支援や考えを深めることができるよう、今後様々な機会を設定しようと思います。

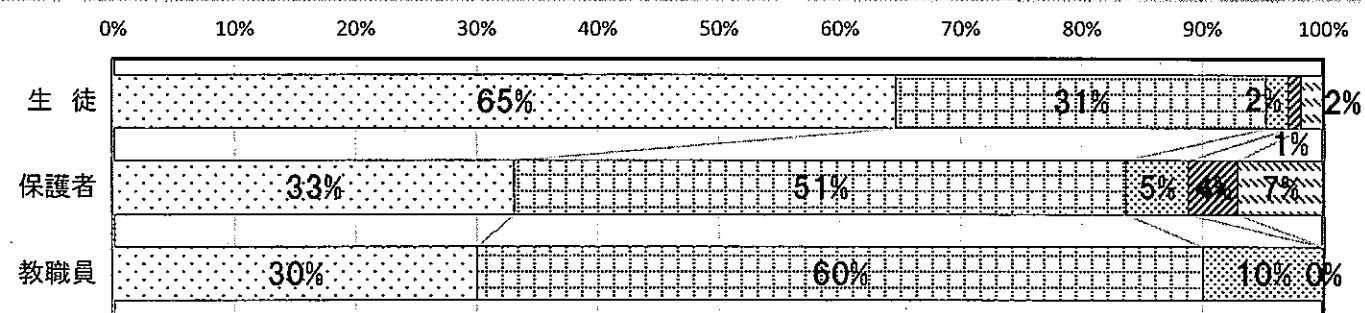
12 生徒が、進んで挨拶できるよう指導している。



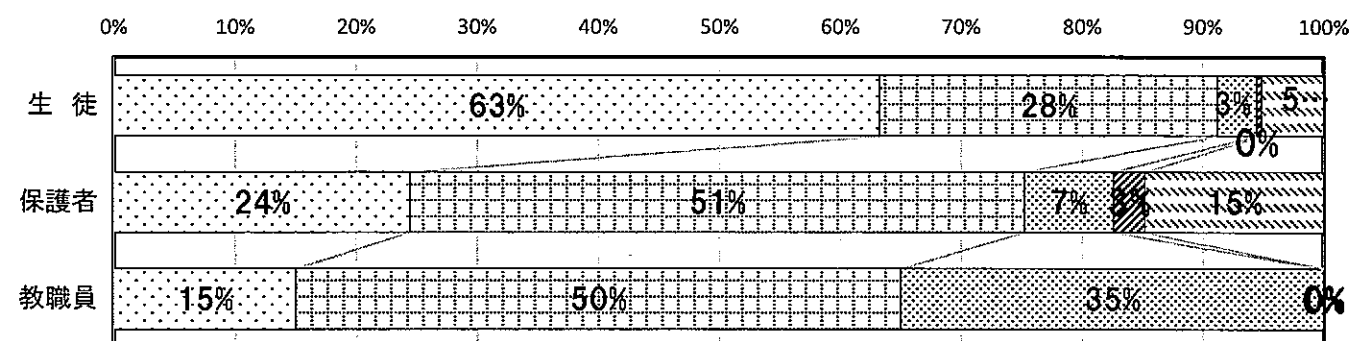
13 生徒が、マナーや礼儀を大切にして生活するよう指導している。



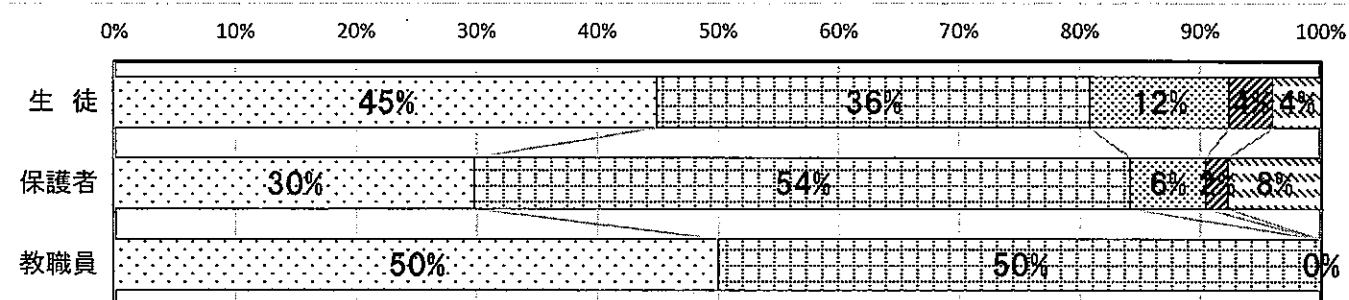
14 生徒が、交通安全に気をつけて登下校するよう指導している。



15 生徒が、携帯・スマホ・インターネットを正しく使用できるよう指導している。

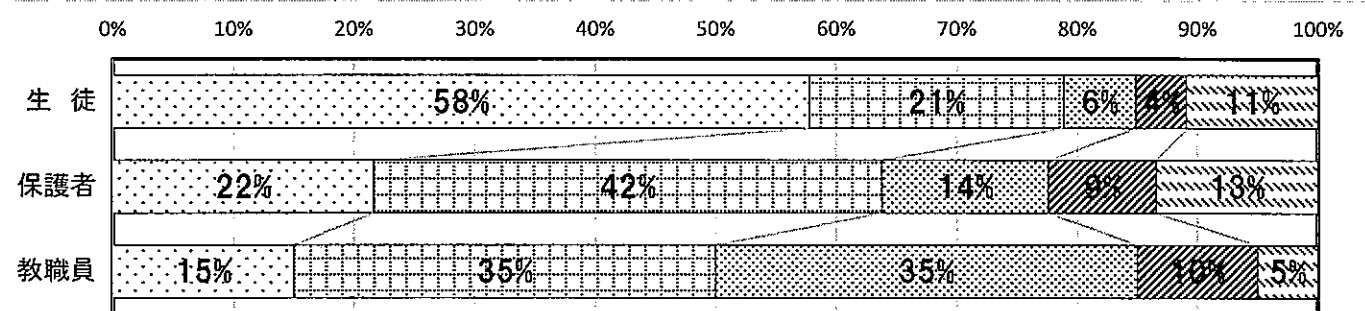


16 生徒が、体調管理に気をつけて、規則正しい生活をするよう指導している。

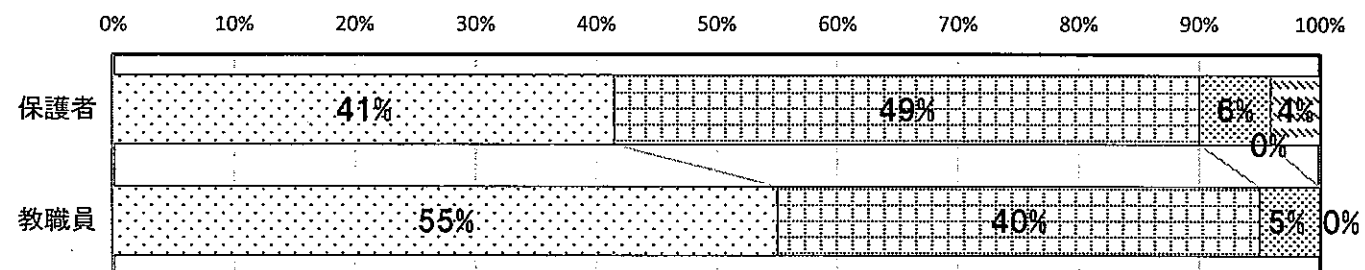


分析	13・14の質問については、生徒・教職員の90%が肯定的な回答をしています。保護者は割合が低なっていました。12・15の質問は生徒、16の質問は教職員の肯定的な回答が最も高なっていました。
対策	12・13・14の回答について、生徒・教職員の取組が、保護者に十分に伝わっていないことが分かりました。日常のあらゆる場面で誠実に行動できるよう、生徒とともに向上を図るよう努めていきます。 15の回答については、生徒を感じる以上に大人が使い方について危うさや不適切な状況を感じていることが分かりました。生徒と保護者・教職員が、お互いの思いを共有できる場づくりについて、今後検討を進めていこうと思います。16については、特に今年度は学校として感染症対策を徹底している一方で、保護者・生徒は家庭での生活も含めて不安や不十分さを感じていることが分かりました。

17 生徒が、部活動に目標をもって一生懸命に取り組めるよう指導している。



18 学年だよりやホームページを活用して、保護者や地域への情報発信に努めている。



分析	17の質問について、生徒の80%が肯定的な回答をしているのに対して、教職員は50%しか肯定的な回答をしていませんでした。18の質問については、保護者・教職員ともに90%以上が肯定的な回答となりました。
対策	17の回答について、特に今年度は感染症対策のため朝練習ができないなど満足に部活動ができない中でしたが、生徒は自分たちなりに目標をもって懸命に取り組んでいることが分かりました。限られた時間の中で、いかに有意義な取組にするか、教職員の意識改革も含め、さらなる取組の向上に努めます。 18の回答については概ね肯定的な回答が多く見られましたが、今後GIGAスクール構想等と関連付けながら、より伝わりやすい情報発信、そして「開かれた学校」づくりを推進していきたいと思います。